

危険予測
トレーニング

夜間の生活道路

夜間の生活道路を走行しています。
どのような危険が潜んでいるでしょうか？



写真のなかの危険が潜んでいると思う箇所を○で囲み、具体的な危険の内容を
下に記入してください。危険は1つだけではなく、複数あります。

危険予測
トレーニング

夜間の生活道路

回答例



1 バックしてきた駐車車両と衝突する

この場面では、右側の駐車場の車のライトが点灯していることから、駐車車両が道路に出てくることを予測しておきましょう。気づかないまま漫然と走行していると、バックしてきた駐車車両と衝突するおそれがあります。

速度を落として駐車車両の動静を確認しながら走行し、駐車車両が自車に気づいていない様子であれば、駐車車両のバックを優先させましょう。



2 交差路から出てきた歩行者や自転車に気づかず衝突する

交差路から歩行者や自転車が飛び出してくることを予測するとともに、交差点を通過するときは安全確認をしっかりと行い、慎重に通過しましょう。

また、夜間はロービーム（すれ違い用前照灯：照射距離約40m）ではなく、より遠くまで照射できるハイビーム（走行用前照灯：照射距離約100m）を基本に走行することで、危険を早期に発見しましょう。

薄暮・夜間の危険

- 視界が悪化し、危険の発見が遅れる
- 早く帰りたいという思いから「急ぎの心理」に陥りやすい
- 疲れから漫然運転に陥りやすい
- スピードを出しやすい